

2020年度
学校だより
第2号

しもね

牛久市立下根中学校
令和2年4月16日
文責 校長 本橋和久

第39回入学式を挙行了しました～令和2年4月7日(火)

4月7日(火)の午後に本校第39回の入学式を挙行了しました。当日は快晴に恵まれ、校庭の桜も177名の新入生を祝うように咲く絶好の入学式日和となりました。新型コロナウイルス感染拡大防止策として、式場の換気や座席間の距離に配慮し、出席者にはマスクの着用をお願いしました。担任の呼名に対する新入生ひとりひとりの力強い返事が聞かれ、私たち教職員も(さすが中学生!)と頼もしく感じました。新入生代表誓いの言葉では、中学校生活への大きな期待が語られましたが、特に中学校では教科の専門の先生から学ぶことを



楽しみにしているという点が私たちの心に強く響いてきました。その期待に十分に答えることができるよう、私たち教職員も一層深く自分の専門教科を学ばなければならぬと誓いを新たにしました。

これで1年生177名、2年生194名、3年生209名の合計580名が揃いました。学校が再開したら、本校の学校文化を大切にしながら、友だち同士でお互いにリスペクトし合うことをどの学級でも徹底します。そうすれば、誰もが安心して学べる下根中学校になると思います。

令和2年度グランドデザインをアップしました～学校経営の基本方針

本校のホームページに令和2年度のグランドデザインをアップロードしました。これは学校経営の基本方針、中期目標、今年度の重点等をまとめたものです。私たち教職員のミッションは「全ての生徒が自分の力で幸せになれるようにすること」です。そのためには、21世紀の変化の激しい社会を生きていくための力をつけることが必要です。文部科学省はその「生きる力」は次のような力をバランスよく身に付けることで育まれるとしています。

- ・学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性等
- ・社会や生活の中で生きて働く知識や技能
- ・未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等

これらの力を身に付け「生きる力」を高めていくために、本校では協働的な学び(アクティブ・ラーニング、主体的・対話的で深い学び)を推進していきます。その基盤となるのが生徒同士、教職員と生徒が互いにリスペクトし、他者を気遣うケアリングマインドを持つことです。いじめや差別のない安心して学べる環境をつくるためにも、生徒・教職員・保護者や地域の皆様が学校の基本的な経営方針を共有していきたいと考えています。

休業中の健康管理と学習習慣～学校再開時に即適応するために

4月20日(月)から5月6日(水)までの課題をHPに掲載します。毎日の学習と健康適度な運動を確実に実践できるよう、お子様への声かけと励ましをお願いいたします。